

事業番号	15 03 04	事業改善シート (28年度実施事業分) <input type="checkbox"/> 予算要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検		
事業名	高等学校理科教育設備・産業教育設備整備事業費		担当課	部局 教育委員会事務局 課・局・室 高校教育課 E-mail koko@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画	プロジェクト	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 2 信州に根ざし世界に通じる人材の育成	実施期間	S27 ~
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	施策展開		

1 事業の概要

目指す姿	理科教育を通じて科学的な知識、技能及び態度を習得させるとともに工夫創造の能力を養う。また、専門教育により最新の知識を身につけ、産業社会を支える人材を育成する。						
現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> 理科教育設備 平成26年度から新学習指導要領完全実施に向けた、5か年整備計画(平成21~25年度)が平成27年度まで延長されたため、必要な設備を整備しているが、整備基準額に対する本県の整備率は平成26年度末で9.9%にとどまっている。老朽設備の整備を年4校程度実施。 産業教育設備 職業科設置校(30校)からは200点以上、9億円を超える設備の更新要望が出されており、平成26年度は15品目(13校)の更新を行った。学習用の電子計算組織は6年リースで整備している。 						
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 県立高等学校の設備整備事業 国庫補助(理科教育設備整備費等補助金)の活用					
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)						
	<ul style="list-style-type: none"> 理科教育設備の整備率の向上(0.1%) 老朽設備の更新(理科教育設備及び産業教育設備) 						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H28事業実績		H28 (当初)	H28 (決算)
	理科教育設備整備	直接	・整備率向上のための設備整備 ・老朽化した設備の更新品目(6校)	11,444	11,429	11,468	
	産業教育設備整備	直接	・設備の修繕・老朽化した設備の更新18品目(13校) ・電子計算組織等のリース・運営・維持	257,663	254,040	258,622	
	合計			269,107	265,469	270,090	

事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28		H29 目標	
	当初予算	270,231	269,107	270,090				目標	成果		達成状況
	補正予算				理科教育設備の整備	9.9%	10.0%	10.1%	10.2%	達成	10.3%
	合計(A)	270,231	269,107	270,090	老朽産振設備の整備	13校	11校	6校	13校	達成	5校
	一般財源	264,805	263,917	264,888	老朽理科設備の更新	4校	4校	4校	6校	達成	4校
	県債										
	国庫支出金	5,426	5,190	5,202							
	その他	0	0	0							
	決算額(B)	267,574	265,469								
概算人件費	職員数(人)	1.00	1.00	1.00							
	概算人件費(C)	8,276	7,914	7,914							
概算事業費(B(A)+C)		275,850	273,383	278,004							

目標に対する成果の状況	・事業により、老朽理科設備の更新を6校、老朽産振設備の更新を13校で実施することができ、期待どおりの成果であった。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・設備の老朽化により設備整備のニーズが高まっており、学習環境の向上を図るため老朽設備の更新を継続的に実施していく。
--------------------	--